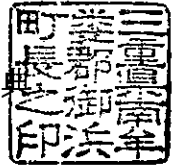




御 産 第 1046号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

御浜町長 古川 弘典



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記について、別紙のとおり回答致します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県御浜町

道路改良をする場合、国土交通省・農林水産省など各省庁の基準がありますが、このような基準を統一する事で地域にあった市町村道路が出来、また、管理に関しても一本化が出来るので簡素化が図れるのではないかと。

JRの踏切改良を行う場合には、町内の踏切を1つ閉鎖しないと、工事が出来ない条件になっておりますが、町内に閉鎖するような踏切はないので踏切改良が出来ない状態です、このような状況では踏切改良が進みません。
このような条件は、無くして頂きたい。

②ー1 地域の現状と抱える課題

三重県御浜町

○現状

年間を通して日本でも多い雨量を記録する地域で、また温暖化の影響により、集中豪雨が多くなり町内の排水路があふれ住宅などに被害をおよぼす事が多くなっています。

東紀州は、昔より陸の孤島といわれるほど、交通の不便なところであり、また連続雨量が300mm以上になると国道42号が通行止めになります。

七里御浜海岸は、年々海岸浸食が進み、国道42号と砂浜の間隔が、無くなってきております。狭いところでは、数十メートルに海岸が迫ってきております。

○課題

町の排水は、JRの敷道、国道42号を横断して七里御浜海岸に排水されていますが、JRの横断排水が昔のままで断面が狭くよくあふれ近隣の住宅に被害をおよぼしている為、排水路の改良を行って行きたいのですが、JRとの協議はなかなか思うように進まないのが実情です。またJRと国道42号の間隔が10m程度で、しかも高低差もあり施工も厳しい状況であります。

御浜町は、年中みかんのとれる町であり、中部圏へのみかんの販売をトラック輸送にて行っておりますが、国道42号が通行止めになれば、交通手段がなくなります。このようなことが頻繁に起これば、市場での信用がなくなり生産者に多大な影響を及ぼします。このような事もあり、高速道路の早期完成を御願したい。

海岸浸食がこのまま進み、台風や地震による津波が発生すれば、国道42号も崩壊のおそれがあり早期の対策が必要である。

②ー２ 地域の目指すべき将来像

三重県御浜町

近畿自動車道紀勢線と熊野尾鷲道路が、東紀州につながれば中部・近畿圏からの観光客増が確実に図られますが、その客の受け入れ態勢を充実させる必要が出てまいります。

例えば、宿泊施設の整備、観光地の整備、道路の整備、みかん狩りの出来る園地の整備などが出てまいります。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県御浜町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等
・地域活力の向上	・日本一大きい紀伊半島一週の近畿自動車道紀勢線の早期完成	・三重県・和歌山県の産業振興、農業振興、観光振興が図れる
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・高速道路が完成すれば地震による災害時の救援車両の通行の確保が期待される	・早期の救援活動が図れる